

第38回漢方学術大会 プログラム

2018(平成30)年11月18日(第3日曜日)

午前9時50分～午後5時30分

慶應義塾大学薬学部・芝共立キャンパス

1号館 マルチメディア講堂

9:50	開会の辞 <大会委員長:小山 直弥>		
9:55	【分科会発表】 <座長:川合 一正・細野 美佐子>		
	分-1 漢方食養分科会「季節食養生」	吉野 道夫	
	分-2 傷寒論分科会「『金匱要略』と『薬局製剤指針』の比較」	高山 留美	
	分-3 本草分科会「神農本草経収載の難解な読みの生薬名」	千葉 和美	
	分-4 漢方雑学分科会「モンゴル生薬探索の旅2018(報告)」	河合 元宏	
	分-5 薬局製剤分科会「薬局製剤漢方薬の齎研による生薬配合比の比較」	田中 美穂	
	分-6 薬用植物観察分科会「身近な薬用植物の観察」	河合 元宏	
	分-7 初級者分科会「初級者分科会活動状況」	岡崎 仁子	
	分-8 薬用植物栽培分科会「薬用植物栽培分科会活動報告」	田口 哲之	
11:10	【一般発表】 <座長:岡崎 仁子・飛奈 良治>		
	般-1 「薬学生の薬局実務実習の漢方の役割」	会員 細野美佐子	
	般-2 「漢方製剤実習 安中散・安中散料の製剤を実際に使用してみる」	会員 渡辺 一冲	
	般-3 「OTC:一般用医薬品における安中散製剤について」	会員 渡辺 方乃	
	般-4 「アクアポニックスによる薬用植物栽培の試み」	会員 今井 淳	
12:00	————— 休 憩 ・ 昼 食 —————		
13:00	【特別講演 I】 <座長:今井 淳>		
	「産婦人科臨床医の漢方薬の選び方・使い方 一癒しを念頭において—」		
	大阪医科大学健康科学クリニック教授・所長 後山 尚久 先生		
14:15	————— 休 憩 —————		
14:30	【一言治験例】 <座長:河合 元宏・中村 成代>		
	言-1 「2つのありふれた治験例」	会員 庄子 昇	
	言-2 「補中益気湯の自験例」	会員 野中 敬司	
	言-3 「虫刺されと黄連解毒湯」	会員 角屋敷 俊二	
	言-4 「花粉症に著効した茶甘姜味辛夏仁湯」	会員 濱田 えり子	
	言-5 「OTC漢方薬使用による副作用について」	会員 本間 幸恵	
15:00	【一般発表II】 <座長:熊井 啓子・庄子 昇>		
	般-5 「登録販売者認定試験にみる漢方方剤関連問題(弐)」	温知会 庄司 良文	
	般-6 「生薬の生産における伝統的手法と機械化について」		
	賛助会員・(株)ウチダ和漢薬	白鳥 誠	
	般-7 「中国青海省の生薬資源:大黄等」	賛助会員・(株)ツムラ	笠原 良二
	般-8 「腸瀉湯の原典について」	賛助会員・小太郎漢方製薬(株)	三室 洋
15:50	————— 休 憩 —————		
16:15	【特別講演 II】 <座長:小根山 隆祥>		
	「貝原益軒『大和本草』に学ぶ」	関東学院大学教授 矢嶋 道文 先生	
17:30	閉会の辞 <大会実行委員長:渡辺 方乃>		
18:00	懇親会 会場:東海飯店大前店		